



新型コロナウイルス感染拡大が第3波！ 緊急事態宣言

新型コロナウイルス感染の広がりが第3波と言われる状況下で2021年1月7日に「緊急事態宣言」が行われました。東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県の一都三県に出され、更に関西圏や中部地域を始め各地にも拡大されるでしょう。我々は、経済活動を行いながらの「不要不急の外出の自粛を徹底」するしかなく、新型コロナウイルスのような次から次へと変異するウィルスを「地球上から抹消」する事は当分困難でしょうから、ウィルスと闘いながら日常の生活スタイルを従来とは異なる新スタイルに変えていかざるを得ません。

手指の消毒とマスクの着用、3密を避ける、テレワークの推進、不要不急の外出自粛、を始め新型コロナウイルスの抑え込みの方法を考え実行してウィルスの広がりを抑えましょう。

数年の間続くとと思われるコロナ禍の中で、個々のロータリアンは先ずは自分自身の仕事・社員従業員・家族を守ることに専念した上で、ロータリー活動を考えましょう。

ロータリークラブにおける楽しみが例会で会員同士の親睦、さらにクラブの外では他クラブの方々との交流が楽しみでした。今また例会を自粛する中で、Zoomなどのオンラインツールで会合を持っている方々が沢山居られます。会員の繋がりを大切に交流しましょう。

現在コロナ禍で医療崩壊が叫ばれ、その中で「献血」による血液の確保が大変厳しい状況に陥っているそうです。ロータリーの奉仕活動の一つとして献血を呼び掛け、更に地域で今必要とされる奉仕活動に目を配り種々なロータリー活動を実践しましょう。

と同時にこれからのロータリークラブの在り方とロータリーについて考える時です。

考えましょう！

第2地域 ロータリーコーディネーター補佐 松坂 順一 (東京葛飾東RC)

皆さん、こんにちは。ARPIC加藤陽一(2760地区 瀬戸RC)です。

今回は私たち2760地区で開催しています、WFF(ワールドフード+ふれ愛フェスタ)についてお話したいと思います。と申しますのは、WFFは公共イメージ向上の手段として最もふさわしい手段であると自負しているからです。

WFFは2013年以降名古屋の中心地、栄地区で毎年開催し、今までに6回開催しています。(昨年、一昨年は台風とコロナの影響で開催できませんでした)主催は地区全体で各地区委員長が中心となり(委員長はパストガバナ)企画しています。40社以上のフードカーが集まり、世界中の食べ物を出店しています。そして各地方から集まった楽隊や祭り集団が一日中音楽を奏でています。2日間の開催中ロータリアンだけでなく、一般のお客様を含め6~7万人の人々が集まり、一日中楽しんでます。インターアクター、ローターアクター、ライラリアン、青少年が会場内の清掃、ポリオの寄附集め活動に活躍したりしてロータリー全体の活動を一般の人々にPRしています。また、新聞社、TV局の取材を多数受けており、ロータリーの公共イメージ向上の手段としては最適のものと思います。

収入としては会場内で利用できるチケットの販売(1枚2,000円。その内400円が寄附金)、一般企業からの広告などを中心に3,000万円ほどになり、結果としてポリオ基金に200万、国際奉仕(移動式教育ユニットの寄贈)は300万円ほど出すことができました。この様にWFFを通じ、ロータリー活動のPRの場としては最適なものと思いますので、他の地区でもぜひ同様な企画を通じてロータリーのPRをしてはいかがでしょうか？

※移動式教育ユニットは僻地での教育活動とポリオワクチン投与活動に利用するものです。

第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 加藤 陽一(瀬戸RC)